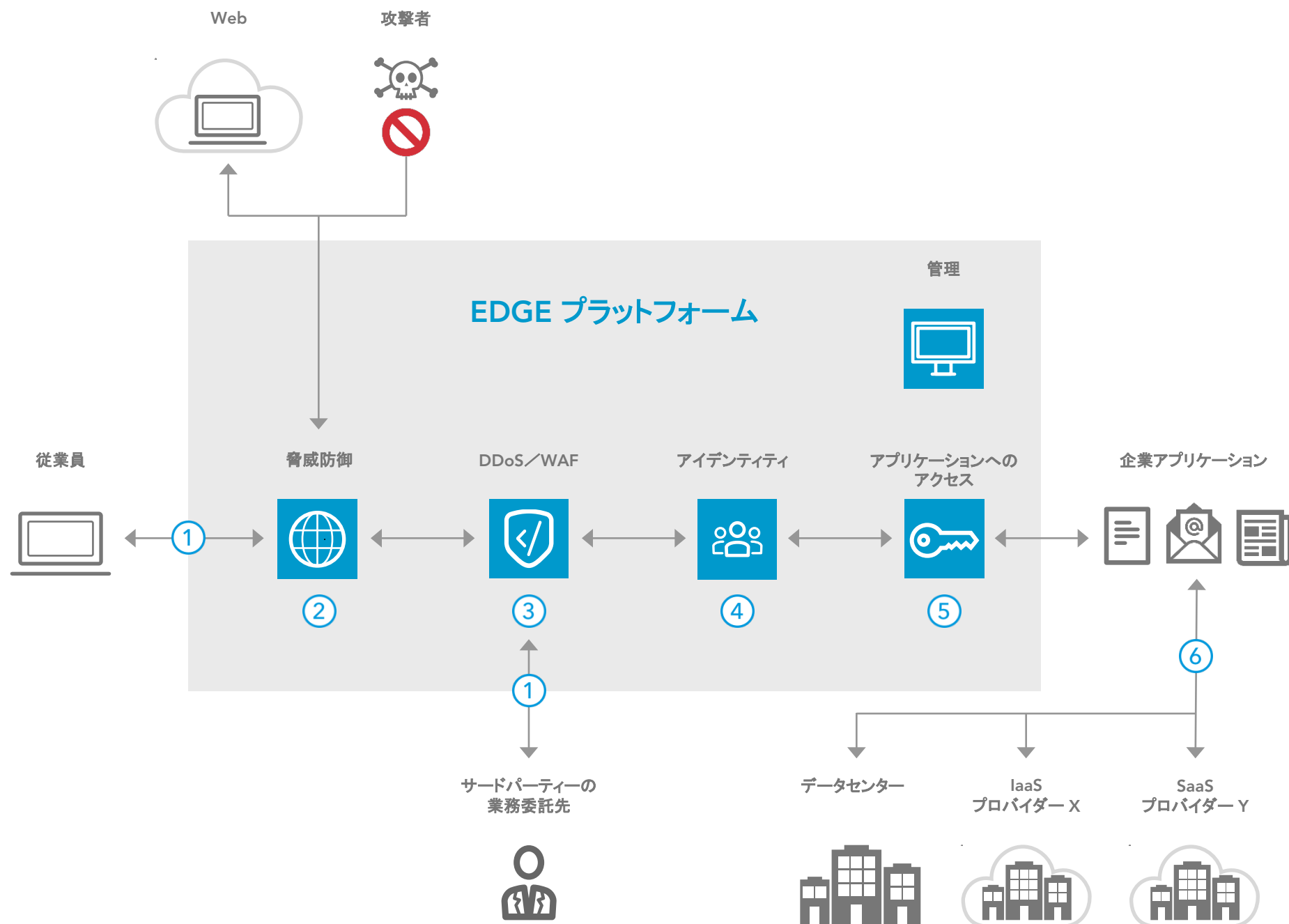


サードパーティーによるアプリケーションアクセス

リファレンスアーキテクチャ



概要

Akamai Intelligent Edge Platform は、セキュリティとアクセス制御を一元化することで、従業員とサードパーティーの業務委託先が社内アプリケーションに効率的にアクセスできるようにします。また同時に、ユーザーのアクセス権を必要なアプリケーションのみに制限します。そのため、リソースを節約できるだけでなく、パフォーマンスが向上し、リスクが軽減されます。

- ① 従業員は Akamai Intelligent Edge Platform を介して社内アプリケーションとインターネットにアクセスします。サードパーティーの業務委託先は Akamai Intelligent Edge Platform を介して社内アプリケーションのみにアクセスします。
- ② 脅威防御ソリューションは、マルウェア、フィッシング、悪意のあるウェブコンテンツからユーザーを保護するとともに、エンタープライズ組織に可視性を提供します。
- ③ エッジサーバーが、企業アプリケーションに対するネットワークレイヤーの DDoS 攻撃を自動的に破棄し、ウェブリクエストを検査して、SQL インジェクション、XSS、RFI などの悪意のある脅威をブロックします。
- ④ ユーザーのアイデンティティは、オンプレミス、クラウドベースのサービス、または Akamai のアイデンティティストアを利用して管理できます。
- ⑤ ユーザーのアイデンティティやその他のセキュリティシグナルに基づき、企業ネットワーク全体ではなく、必要なアプリケーションのみへのアクセス権が付与されます。
- ⑥ Akamai Intelligent Edge Platform が、承認、認証したユーザーを、関連する企業アプリケーションにルーティングします。

キープロダクト

脅威防御 ▶ Enterprise Threat Protector

DDoS/WAF ▶ Kona Site Defender または Web Application Protector

アイデンティティ確認とアプリへのアクセス ▶ Enterprise Application Access